

2024年度（第1期生） 奨学生の声

当財団の2024年度（第1期）奨学生プログラムに採用されました高専生7名の学生につきまして、2年間の給付期間を無事に終了し、この春めでたく卒業を迎えられることとなりました。

卒業される皆さまに、心よりお祝い申し上げるとともに、今後ますますのご活躍を期待しております。

当財団といたしましても、奨学生プログラムを通じて学生の皆さまを支援し、第1期生を送り出すことができましたことを大変嬉しく存じます。

なお、今回の卒業にあたり、第1期生より感謝の声を頂戴しておりますので、その一部を抜粋してご紹介させていただきます。

【奨学生の声】

- ◎経済的支援により学業・研究活動に集中できる環境を整えることができました。
- ◎返済不要の給付型なので安心して受給できました。
- ◎奨学金を活用して学会に参加でき、貴重な交流体験を得ることができました。
- ◎所得制限などの制約がなく、様々な家庭環境にも対応できる点が魅力的でした。
- ◎負担の大きいレポートがなく、学業との両立がしやすかったです。
- ◎ものづくりの現場である鶴見製作所の工場を見学できるイベント等もあり、製造業や社会のインフラ面を支える業界の理解が深まりました。

当財団はこれからも実践的・創造的技術者となる人材の育成を目的とした奨学金の支給事業、並びに将来の水中ポンプのコア技術である流体力学や造形・鋳造等の科学技術分野における日本の優れた学術研究への研究助成金支給事業を推進してまいります。